

三條別院のご案内

真宗大谷派 三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

昨今、坊コンの文字が紙面を賑わしています。その昔、私の二人の祖父が組長をしていた時のことです。三條別院での会議の後でお互いの息子と娘のことが話題になり、「では、一緒にしては…。」という方向に落ち着いたようです。その結果、私の両親は結婚したらしいです。笑い話のようですが、今の私があるのは、三條別院のお陰(?)かも知れません。

さて、この度、長い年月をかけてたくさんの皆様が参画された「御遠忌法要」が終了しました。職員の皆様やスタッフの方々は、成し遂げられた充実感に満ちあふれておられることでしょう。私はと言えば、団参の募集と集約、参拝座席の配置、更には御遠忌弁当数の確認等に奔走の日々でした。実際、御遠忌テーマと向き合うよりも、組織への任務遂行に重きのあったことは、否めない事実です。

今回の御遠忌法要を振り返りながら、果たして、「教えにであい、新しい自分の発見はあっただろうか?」と自問しています。

ところで、私は小学校を退職後、いじめ相談電話の相談員の仕事をしています。「我が子がいじめにあり、悩んでいます。」「子どもが不登校

です。なぜ、私の子だけが。」等々。

時には、「人生に疲れしました。話を聞いてもらえますか?」などの相談も入ります。心の中では、「私だって人生に疲れているんです。」と思っても、苦しい相談者の気持ちに寄り添って話を聞きます。大切なのは「傾聴」です。相談者の生の話を聴きながら、認め、労い、支持します。こちらからの断定や指示等はしません。なぜなら、会話を通して明日への一歩を踏み出すのは、相談者自身だからです。待ちながら交わす沈黙の会話もあり、「待つ」ということも大事になります。

今、住職としての私も、大切な法務を通しながら、この「傾聴」を実践していくことが求められています。日々の生活の中で、内なる声にじっくりと耳を傾けられるよう努力していきたいです。

第十四組蓮壽寺住職 日下部文典氏

○次回の「三條別院に想う」は、

堀川秀道氏(第十六組浄泉寺住職)より

ご執筆いただきます。

三條別院公開講座「心の問題と仏教思想・親鸞思想」

本年の三條別院公開講座は、精神科医の北西憲次先生(森田療法研究所所長・北西クリニック院長)をお招きし、六月十四日に開催されました。

講題は「心の問題と仏教思想・親鸞思想―自己愛の病理の理解とその対応をめぐって」。北西先生には一昨年・昨年と東洋思想・仏教思想に影響を受けて生まれた森田療法の理論について詳しくお話しいただきましたが、本年は自己愛と人間関係の病(社交恐怖・対人恐怖等)について、特に説明いただきました。

親鸞思想との関わりについては、「自然法爾」という言葉が挙げられました。森田療法では、感情・欲望・身体の反応について自然と考え、それがあるがままではなく「かくあるべし」としてしまふことは反自然であり、それは自己愛の働きであり、その中で身動きできなくなることで、人間関係の病が生まれてくると分析されました。北西先生の講義については三年で一区切りとなりますが、

来年も三條別院が、人々とともに現代の問題について考える場となることを願ひ企画してまいりますので、ぜひご参加ください。



宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であり、ます毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。



なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【七月二十八日（火）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

光井栄史氏（第十六組 願善寺）

※新年度の講師一覧は次号でお知らせいたします

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催します。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より（一時間程度）

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

五月〜七月 小林 智光氏（第十二組 淨照寺）

講題

「源氏物語と仏教」日本文学と仏教」

第一回「文学の起り」（済）

第二回「像法から末法へ」（済）

第三回「源氏物語と仏教」【七月十三日（月）】

◆小林氏による「源氏物語と仏教」日本文学と仏教」もいよいよ最終回。六月開催の第二回は①法筆縁②怨靈③浄土思想というキーワードを挙げていただき、平安時代の信仰についてお話しいただきました。次回はいよいよ本論「源氏物語と仏教」です。はじめての方でもわかりやすくお話居ていただきますので、ぜひ「聴聞ください」。



その他の講座案内

◎別院声明教室（全五回）

〔月一回水曜日、午後六時〜八時〕

七月は休会となり、次回は八月から再開いたします。詳しくは次号にてご案内いたします。



◎別院書道教室

〔月一回第二、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕

講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝 二五〇〇円（テキスト代含む）

随時募集中

◎三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、開法会を開催しませんか？

◎別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

◎別院特別参拝

皆様の御懇念により御修復が完了した本堂・諸殿を、案内いたします。

◎日程

・勤行（修復の完了した本堂にて同朋唱和）

・三条別院の歴史について

・宗祖御遠忌法要概要説明

・諸殿拝観（修復箇所を中心に説明いたします）

本堂・旧御堂・書院・同朋会館・駒札

◎冥加金 金額は定めておりません。

◎その他 お土産に宗祖御遠忌を記念し「創業文政敦賀屋 長吉 つるがや」さんによりつくられましたお菓子「越 佐の国三條別院なむの里」を是非ご利用ください（事前注文必要）。

○三條別院有志の会

もともと三條別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。参加希望の方は、ぜひ別院までご連絡ください。

私たち、別院有志の会です！（会員の声）

御遠忌が終わり今はただ感謝、感謝です。有志の会会長として、昨年四月には駒札の立柱式、



御遠忌には庭儀に来賓として声をかけて頂きました。来賓という事で何か場違いのような気がしましたが、一応有志の会代表として出席させて頂きました。二十四日の結願日中法要には、

飛檐の間に座らせて頂き、最後の和讃「如来大悲の恩徳は」を聞いたとん涙があふれてきました。六日間の後堂のお茶接待、お参りの方々のお茶接待、毎年の報恩講とは少し勝手が違い戸惑う事もありましたが、出仕されるご寺院方や掛役の方々の緊張などで、ピツと張り詰めた独特な後堂の空気を感して頂いていると、疲れも眠気も吹っ飛びます。有志の会のこころ「恩徳讃」御遠忌をお勤めし終えて、会員皆が再確認し合えたことでした、有難いことでした。翌朝のおあさじから、報恩講が始まりました。一日、一日、私の生活をお念仏に聞いて往きたいとおもいます。

同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シーツクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

職員 退任のご挨拶

三條別院書記兼列座

松浦武馬（第十一組運行寺）

この度、六月三十日をもって三條別院を退



職することとなりました。

五年前、別院の本堂にお参りし、面接を受けたことがつい最近の事のように思われます。良き御縁に恵まれ、皆様にお育ていただき、様々な経験を積ませていただきました。ありがとうございます。

実を言いますと、退職に関してあまり大きな変化とも思っていないのが本音であります。と言いますのも、日々別院に通う事は無くなるのですが、別院が教区にとつての中心道場である事には変わりはなく、事あるごとに別院には足を運ぶことでしょうか。そのような折々にまたお会いできればと思います。

これからは、一教区人、別院有志の会の一員として今までお育ていただいたことを、少しずつお返ししていければと考えております。今後とも今までと変わらぬご指導を頂ければと思います。

